


令和2年度 さいたま市立谷田小学校 学校関係者評価書

さいたま市立谷田小学校

学校関係者評価委員長 和田 信也 

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 14名
- (2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- (1) 今年度は、コロナ禍により、大変だった中、谷田小の職員は本当によくやってくれている。
- (2) コロナ禍により制限された教育活動の中、体育授業公開や音楽授業公開、個人面談等、感染症対策を怠ることなく保護者のニーズに対応した教育活動を展開していた。
- (3) さいたま市GIGAスクール構想、エバンジェリスト等新しい取り組みが増えていると感じる。ぜひ子ども達のためになるように準備を進めてほしい。
- (4) 学校がどんどん新しい取組をして、地域が遅れていくのはいけない。この会自体もパソコンでリモート開催にしたり（ZOOM等）、パソコンで会の様子を配信したりするなど、変化をしていくこともこれから検討が必要ではないか。
- (5) 学校は、環境整備や登下校の見守り等、よくやってくれて、頭が下がる。保護者も児童もよく見ているので学校評価の結果につながっている。
- (6) 谷田小学校は、時間割の授業時間を多くして、授業時数を確保しているの、学校評価の学習に関する項目の高い数値がでている。保護者は安心している。
- (7) 谷田小の職員が、子どもたちのためによい準備をしているから、子どもたちは育っている。地域の皆様にもよい形でご支援いただくことができている。子どもたちはよい環境で生活し学習することができている。
- (8) 谷田小の職員が忙しすぎて体を壊さないか心配している。是非業務改善も併せて進めてほしい。
- (9) パソコンは、子どもは喜んでやると思うし、使い方を覚えるのは早いと思うが、その分子ども同士の生のやり取りが減っていくことで、コミュニケーションが減っていくのではないかと心配している。
- (10) 学校関係者評価委員アンケート結果から
 - 全評価項目において高い評価をいただいた。特に「生徒指導」及び「教育相談」に係る質問項目が高い評価結果となった。引き続き、力を入れて取り組んでいく。
 - 他と比較してやや低い評価結果となっているのが「児童の安全意識」に関する質問項目である。児童の安全意識の高揚に向けた取組を実践していく必要がある。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- (1) 業務改善について、多くの評価委員の方より効果的な取組を推進していく必要がある旨の発言をいただいた。職員の健康の保持増進と職場環境改善等に向け、教職員の意識改革及び効果的な業務見直しを計画的に実践していく。
- (2) GIGAスクール構想に伴う取組について、児童が学習の伸びや成果を実感できるよう、教員のスキルの向上及び指導方法を研究していく。その際、パソコンばかりに頼ることなく、人と人の触れ合いも重視しながら、コミュニケーション力の育成や心の教育の充実も図っていく。
- (3) 「児童の安全意識」に関する質問項目が他と比べて低い評価になっている要因として、広がって歩く等、児童の下校の仕方が考えられる。登下校指導で児童の様子を見ながら計画的に指導を繰り返しているが、改善につながる、より効果的な指導を行うとともに、保護者や地域の方とも課題を共有し、より協力的な指導体制を築く。

さいたま市立谷田小学校長 井原 政幸 